

令和6年12月10日

各大学長  
各大学農学部長 殿  
各関係機関長

弘前大学農学生命科学部長  
東 信 行  
(公印省略)

農学生命科学部（応用微生物学分野）教員公募要項

1. 募集職種・人員 教授 1名
2. 任 期 なし
3. 所 属 農学生命科学部（分子生命科学科）
4. 専 門 分 野 応用微生物学分野
5. 担 当 科 目 農学生命科学部：  
〔専任担当科目〕微生物化学，微生物機能利用学，分子生命科学実験Ⅱ，  
専門英語，卒業研究など  
〔分担科目〕農学生命科学概論，海外研修入門など  
大学院農学生命科学研究科：  
〔専任担当科目〕応用微生物学特論Ⅰ，Ⅱ など  
〔分担科目〕農学生命科学特論Ⅰ，Ⅱ，実践研究推進セミナーなど  
教養教育科目：  
スタディスキル導入科目，自然・科学科目群など
6. 採用予定時期 令和7年6月1日（以降のできるだけ早い時期）
7. 待 遇 (1) 給与については，国立大学法人弘前大学職員給与規程が適用になります。  
(2) 労働条件については，弘前大学の定める規程等によります。
8. 応 募 資 格 次の要件をすべて満たす者  
(1) 博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む）を有すること  
(2) 教育上の実績と，原則として著書及び学会誌又はこれに準ずるものに掲載された原著論文・総説を20編以上有すること  
(3) 原則として最近5年間に公表された同上の業績を5編以上有すること  
(4) 外国籍の場合は，学内諸業務の遂行が可能な日本語運用能力を有すること

9. 求める人材 分子生命科学科は、未知の生命現象の解明とそれらの新技術への応用、生物資源及び機能性物質の探索と開発、有効利用に関する研究を通して、農業や食と健康をめぐる課題を多面的・国際的に把握し解決できる人材の育成に取り組んでいます。今回公募する教員には、例えば再生可能な非可食バイオマスを原料として芳香族化合物等の化成品原料を生産するような、発酵微生物の創出に関する研究経験を有する方を望みます。先端的かつ社会の要請に応えうる応用微生物学の発展につなげるとともに、その成果を青森県で発生する非可食または農業残渣などの未利用バイオマスの活用につなげることを視野に入れながら、農学生命科学及び地域に資する人材の教育と研究ができる方を求めます。また、大学院における専門科目の授業を英語でできる方を望みます。

10. 応募書類
- (1) 履歴書（高等学校卒業以後の履歴を記載したもの）  
なお、出産・育児や介護等にもなう研究中断期間がある場合には、中断の期間を履歴書内に記載してください。
  - (2) 研究業績目録（業績の区分、記載方法については、農学生命科学部のホームページを参照してください）
  - (3) 研究業績目録に記載された著書、原著論文、総説のうち主要なもの20編以内の別刷又はコピー
  - (4) (3)のうち5編以内について、各編の学術的意義に関する簡潔な説明書
  - (5) 教育業績書
  - (6) 地域連携・社会貢献に係わる業績説明書
  - (7) 学会・社会における活動状況の説明書  
(所属学会における活動及び公的機関の委員会専門委員などの社会における活動について記載してください)
  - (8) 従前の研究活動の特徴を述べたもの（2,000字以内）
  - (9) 今後の教育及び研究に対する抱負を述べたもの（2,000字以内）
  - (10) 応募者に関する参考意見を伺える方2名の氏名と連絡先  
(氏名、所属、役職、連絡先所在地、電話番号、E-mailアドレス)

※必要書類中(1)、(2)、(5)、(6)は所定の様式に記載してください。

様式は、農学生命科学部のホームページからダウンロードしてください。書類に不備がある場合でもそれに基づいて審査が行われます。不備が多いのは研究業績目録です。記載の仕方に十分ご注意ください。

※Web応募の場合、全体をzip形式で圧縮してJREC-IN PortalのWeb応募機能から提出してください。

11. 応募期限
- (1) 郵送の場合  
令和7年2月10日（月）17時必着【日本標準時】
  - (2) Web応募の場合  
令和7年2月10日（月）24時【日本標準時】

12. 選考方法
- (1) 書類選考
  - (2) 候補者による発表（模擬講義と、これまでの研究と今後の教育研究・社会貢

献について)

(3) 候補者に対する面接

※(2)(3)については、オンラインで実施することがあります。詳細は別途通知します。

※選考の過程において、応募者周辺の方に意見を伺う場合があります。

### 13. 書類提出先

(1) 郵送の場合

〒036-8561 青森県弘前市文京町3番地

弘前大学農学生命科学部 総務グループ（総務担当）宛

※封筒に「教員応募書類（応用微生物学分野教授）在中」と朱書きし、簡易書留、レターパック、EMS、その他法令で認められる送付方法により、送付記録の残る方法で送付してください。

(2) Web 応募の場合

JREC-IN Portal Web 応募 (<https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekTop>)

### 14. 問い合わせ先

〒036-8561 青森県弘前市文京町3番地

弘前大学農学生命科学部 総務グループ（総務担当）

Tel : (0172)39-3751 E-mail : [jm2745@hirosaki-u.ac.jp](mailto:jm2745@hirosaki-u.ac.jp)

### 15. その他

(1) 分子生命科学科には、教育コースとして生命科学コース、及び応用生命コースの2コースがあります。

今回の公募は、応用生命コースの教員補充に伴うものです。

(2) 本学は、岩手大学大学院連合農学研究科の構成大学であり、採用者は連合農学研究科教員となる教員資格審査を経て博士課程の学生を指導することになります。

(3) 選考の過程で面接や研究・教育・社会貢献に関する発表をお願いすることがあります。その場合、旅費は応募者の負担となります。

(4) 弘前大学は男女共同参画を推進しています。業績及び資格等に関わる評価が同等と認められる場合には女性を優先的に採用します。面接時の交通費支援を含む支援策については、男女共同参画推進室ホームページをご覧ください。

(ホームページの URL <https://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/>)

(5) 弘前大学では、女性の方、外国籍の方の積極的な応募を歓迎いたします。

(6) 応募書類により取得する個人情報、本公募による教授候補者の選考及び採用時の人事、給与、福祉関係等必要な手続きにのみ利用するものであり、この目的以外で利用又は提供することはありません。

以上